

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2017. 3
No.283

働き方改革

イナテックも「もっといい会社にしよう」「魅力的な会社を目指そう」「後から入社してきてくれる者たちのために、いい会社におこう」という思いで、残業低減やサービス残業撲滅を掲げています。そのために、生産性向上、重筋作業改善、全数検査作業の機械化などに取り組んでおります。

その中でもサービス残業(ヤミ残業)についての記事がありました。＼サービス残業撲滅＼のための学びにしたいと思います。

『事実の把握と報告はビジネスの基本だ。残業や早出など時間外勤務の実態把握は、職場の人員配置、業務効率などの判断に欠かせない

経営情報だ。虚偽報告は経営判断を誤らせてしまう。

さらにヤミ残業を許す風土は事実を正確に報告しない社風も生みかねない。ヤミ残業を「会社への忠誠心の表れ」と考える社員もいるようだが、大間違いだ。効率良く仕事をしているかのように経営者をだましているのだ。ヤミ残業を許すのは嘘を許すことであり、不正の温床にもなりかねない。

ヤミ残業の根絶は厳格な管理だけでは難しく、個々の社員の意識にかかっている。経営者は明確なメッセージを繰り返し出すべきだ。「ヤミ残業は許さない。時間外勤務の実態を正確に申告しない者は会社を裏切るものである」。ここまで言い切るべきだ。

(中略)

真実を語る社員を守り、社員を人として尊重する。まともな経営者なら必ず行うべき行動が、会社を明るく元気にし、社会から尊敬される会社と変えていく。』

(「ヤミ残業は不正の温床になる」 2017年1月30日付 日本経済新聞より)

私たちに対する指針と忠告であると思います。ヤミ残業(サービス残業撲滅)に向け、無駄な作業を廃止し、特に間接作業の効率化を実施し、気持ちのいいイナテックにいきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

長時間残業

政府は残業の上限を60時間/月までと定めた案を示しました。政府は数値化だけで解決しようとしています。この長時間労働改革の根は深いと思います。

この問題について、イナテックも決して目を背けてはいけません。これも我々の意識を変えるための学びの記事です。

『長時間労働が社会問題化している。(中略)絶対的労働時間規制を設けるなど法的規制の強化は当然の流れだ。

だが、法的規制や取り締まりだけでは、この問題は片付かない。すでに、近年の労働基準監督署の取締強化を受けて、リーガルリスクを回避するだけの対症的な施策を実施する企

業も増えている。例えば、「全社消灯」「ノー残業デー」「ノー残業月間の実施」「残業許可制・定時等の強制退社」などの施策を実施した結果、かえって社員に負荷がかかるなどの弊害も生んでいる。

取材した社員の中には「上司は早く帰れと言っただけ。仕事が滞ると個人の責任が問われ、結局サービスマン残業か持ち帰って徹夜するしかない」という声もあれば、「ノー残業月間の翌月がすごく忙しくなった。業務量は減っていないので、根本的な解決にはなっていない」との声もある。あるいは「ノー残業デーがあっても強制力がなく、「夏は消灯し、空調も止められ、蒸し風呂のような部屋で仕事をするので効率が悪く、さらに残業が増えた」という劣悪な労働環境に置かれている人もいる。

後ろ向きの強制的な残業削減策は社員の疲弊と生産性の低下をもたらすだけである。長時間労働は経営トップ主導の下に部署ごとの労働時間を洗い出し、業務量や業務プロセスを個別に検証しながら地道に解決していくしかない。

〔長時間労働解決への課題〕 2017年1月25日付 生産性新聞より

我社でもある耳の痛い話ですが、真摯に向き合い、対策せねばならないと実感しました。そのための第一歩として、まずは、多能工を増やし、また部下を育成することです。そして、それを標準化し、機械化から自動化へと効率化を図ります。

そこで、機械化、自動化すればほど重要

になってくるのが、「保全技術」です。もちろん、IoTも必要ですが、やはり最後は「保全技術」です。だから、TPMをやり続けるということですが、TPM活動を続けることが、働きやすい職場を創造し、長時間労働のない社風をつくることにつながるのだと思っております。

四五

徜徉於山林泉石之間、而塵心漸息、夷猶於詩書圖畫之內、而俗氣潛消。故君子、雖不玩物喪志、亦常借境調心。

山深く林静かな所や泉わき石そばだつ所などを逍遙すると、俗塵に汚れた心も、だんだんに洗い流される。また、詩書や絵画をゆっくりと楽しんでみると、身にしみついた俗気も、いつしか消え去る。そこで、君子たるものは、道楽にふけて本心を見失うことを戒めねばならぬが、しかしまた、常々、(俗塵に汚され、俗化しないように)、外境を借りて本心を調えることを心掛けるがよい。